

評価細目の第三者評価結果

（保育所、地域型保育事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-（1） 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-（1）-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	ホームページ、入園のしおり、園内掲示を通して保育理念、目標等を明示し、園への理解が深まるよう努めている。ドキュメンテーションを使用し、日々の保育の姿を伝えているが、更に活動の意味等を理解してもらえよう説明文書の作成を計画している。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-（1） 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-（1）-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	市内の私立保育園ネットワークへの参加、行政との連携を通して取り巻く環境の情報把握に努めている。また法人グループの他園との情報共有を図り、運営・行事・労務管理等の改善を図っている。
I-2-（1）-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	バランスをとりかつ効率的な運営を目標としており、省資源・ICT化が図られている。開設より3年度目を迎えており、期間を経ての考察と種々の取り組みがなされている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-（1） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-（1）-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	3年度にわたる中期計画が作成されており、安定した運営、地域ニーズの把握等の目標・具体的実施案が明示されている。
I-3-（1）-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	安全管理対策、職員の資質向上等が盛り込まれた年度の事業計画が毎年度策定されている。全体的な計画、年間指導計画、食育・保健計画等とあわせ振り返りに努めている。
I-3-（2） 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-（2）-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	定例の会議、職員面談を通して状況の把握と指導にあたっている。会議等での説明を通して職員を一つの方向に導くよう努めている。
I-3-（2）-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	園の方針・計画は掲示やICTシステムを通じて保護者への周知にあたっている。文言ではなく、保護者に保育方針を理解してもらえようドキュメンテーションや動画による伝達がなされており、更にその説明に注力していく意向をもっている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	月案・週案の作成と反省、幹部・リーダー会議等での討議、事業計画・全体的な計画の評価を通して保育の質の向上実現に取り組んでいる。
I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	保護者のアンケート、職員自己評価の実施結果を踏まえ、運営と改善に努めている。クラスへの人員配置についても方針と状況を踏まえて決定し、保育の向上につなげるよう取り組んでいる。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	組織図と業務分掌が作成されており、各職種の役割が明示されている。園内の雰囲気づくりに努めており、管理職によるフォロー、人柄を重視した採用と育成、クラス配置の配慮等により園内をまとめるよう取り組んでいる。
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	研修参加・規程の作成を通じてコンプライアンスの研鑽と実践にあたっている。個人情報ほか各種法令の理解を通じて安定かつ適正な運営に取り組んでいる。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	保護者からのアンケート、職員の自己評価結果、各種会議での討議を運営に反映すべく努めている。法人グループ内の園長会議等から情報を収集し、行事等日々の保育、労務管理等組織マネジメントの向上に取り組んでいる。
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	水道高熱等の省資源化、記録、連絡等のICT化により業務の効率向上に取り組んでいる。時間外労働、有給休暇取得に対しても配慮し、働きやすい環境整備に尽力する企業として県の認定を受けている。

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	公共機関等を活用し、人材募集・確保にあたっている。開設より離職者が少なく、人材定着が実現している。
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	自己評価と面談をもとにした目標管理がなされており、人事考課を反映した処遇がなされている。各職員の経験や能力を考慮し、人材育成に努めている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	有給休暇・時間外労働については記録・管理がなされている。また県指定の「多様な働き方実践企業：プラチナ認定企業」となっている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	a	職員とは個別面談を実施し、意向の把握やキャリアアップについて確認がなされている。教養を深めるだけでなく地域の方から伝統芸能を学ぶなど総合的な人間力向上を目標としている。
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	年間研修計画を策定しており、職員の自己研鑽を支援している。新型コロナウイルスの影響を受けるものの、リモート機器の活用により補足・補充をしている。

II-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	a	子どもたちの体感を鍛える運動、他業種との交流、保護者へのマナー、マネジメントなどを中心に職員の育成を図る計画をしている。リモート機器、動画を活用することにより効率的に進めていく意向をもっている。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	担当者の他にオブザーバーを配置するなどフォローを考慮した体制整備に努めている。実習生のやりたいことを聴取しながら将来の人材育成へ協賛している。また若年層のアルバイトを雇用するなど独自の取り組みもなされている。

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	法人の情報については電子開示システムの利用と法人ホームページからのリンクにより公表がなされている。ホームページでは園の活動や方針のほか写真を多く掲載しており、理解が深まるよう取り組んでいる。今後は更新の頻度や見やすさを考慮して改訂を進める意向をもっている。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	経理およびコンプライアンスにおける規程を整備しており、法人グループおよび税務の専門家等の指導を受け、適切な運営に取り組んでいる。

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	新型コロナウイルスの影響により小学校との接続機会が減少している。終息をみながら年長児童の近隣保育園との交流、療育事業への職員見学および交流を実施していく予定をしている。また食育についてもクッキングなど狭い活動ではなく、農業体験など幅広い活動に取り組む意向をもっている。
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	伝統芸能の招待などコロナ禍にあっても地域からの協力を得ている。若年者の短時間雇用など多様な取り組みがなされている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	近隣に子育て支援センターがあることから、利用や災害時の避難だけでなくイベント等の告知をしている。ICTシステムを活用し、園内だけでなく保護者にとって有益となる情報発信に努めている。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	地域ネットワークへの参加、法人グループとの情報交換により地域ニーズの把握に努めている。定期で開催する運営委員会では保護者代表、民生委員等からの意見を参考にし、運営にあっている。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	一時預かり事業の実施などの公的貢献がなされている。今後は子ども食堂の実施など計画がなされている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-1 (1) -① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	定期での研修、日々の指導により子どもに寄り添う保育の実践に努めている。躰ではない、丁寧かつ一人ひとりへの考察を主眼とした理念への理解のため指導にあたっている。
Ⅲ-1-1 (1) -② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	着替え時のブラインドの使用、着替え方法の配慮等によりプライバシーの保護に努めている。ジェンダーレスへの意識が自然に身につくよう保育と環境整備に努めている。
Ⅲ-1-1 (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-1 (2) -① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	新型コロナウイルスへの配慮により人数を制限したかたちで入園希望者への見学を実施している。状況により動画を活用するなど工夫しており、園の特徴、職員配置等への質問に回答しながら説明にあたっている。
Ⅲ-1-1 (2) -② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。	a	入園時にはしおり等を使用し、準備や留意事項を説明している。またアレルギー対応等についても個別の面談を実施し、情報の共有と入園後の対応にあたっている。特にケガ、受診、発熱等については丁寧な説明に努めている。
Ⅲ-1-1 (2) -③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	就学に向けては午睡時間、学習等に配慮して準備を進めている。また小学校の教員からの協力を得て継続性や自立へのサポートにあたっている。
Ⅲ-1-1 (3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-1 (3) -① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	保護者アンケートの実施を通して意見の集約に努めている。また定期で開催する運営委員会には保護者代表が参加しており、意向を運営に反映するよう取り組んでいる。
Ⅲ-1-1 (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-1 (4) -① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情相談体制を整備しており、掲示により周知を図っている。苦情解決第三者委員会、意見箱の設置など要望・意見を集約できる環境を整えている。
Ⅲ-1-1 (4) -② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	保護者が意見を言いやすいよう連絡アプリケーションを活用しており、保護者の立場や状況に寄り添うよう職員への指導にあたっている。また保護者だけでなく近隣住民の理解を得られるよう努めている。
Ⅲ-1-1 (4) -③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	苦情対応についてホームページにて受付結果を公表しており、開かれた園であることが理解できる。運営委員会の定期的開催により保護者の意向を把握するよう努めている。
Ⅲ-1-1 (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-1 (5) -① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	保育保全マニュアルにより緊急時対応方法の周知がなされている。細かなことでもヒヤリハット報告書に記載し、園全体で共有と分析をしながら安全対応にあたっている。
Ⅲ-1-1 (5) -② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	新型コロナウイルス対応については研修実施、保護者への協力要請等衛生環境の保持に努めている。ICTを活用しながら保護者との連携・情報提供にも取り組んでいる。

<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>毎月避難訓練を実施しており、特に水害対策については地域の協力を得ながら進めている。不審者対応訓練の実施を予定しており、実施後の検証・分析が期待される。</p>
---	----------	--

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
<p>Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>a</p>	<p>衛生・保育・危機管理等に関するマニュアル、コンプライアンス・就業・個人情報保護等の規程が各種整備されている。法人グループ他園等を参考にしながら・独自の見直しを加えながら標準化を進めている。</p>
<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>a</p>	<p>ミーティング・指導計画等の更新の際に見直し・振り返りを図っている。ルールや規定については更に詳細な明示を行う改定を予定している。</p>
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画（個別支援計画）を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<p>年・月・週における指導計画が策定されており、見直しを立てた保育の実施に取り組んでいる。週間指導計画については、職員が順番に担当することで意見の集約と職員自身の成長につなげている。</p>
<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画（個別支援計画）の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>日々の保育で気づいた点はノートに残し、個人記録や児童票へのまとめにより改善につなげている。各種計画は管理職によるチェックがなされており、前向きな姿勢、表現方法等の指導により改訂がなされている。</p>
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況（個別支援計画）の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<p>ICTを活用した記録システムを導入しており、タイムリーな職員間の情報共有、保護者への連絡が実現している。</p>
<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<p>個人情報保護規程を整備し、情報の保守・漏洩防止にあたっている。漏洩等未然に防ぐためのインシデント報告がなされており、第三者委員・運営委員等外部機関を含め園全体で留意に努めている。</p>

A 個別評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-1 (1) 全体的な計画の作成		
A-1-1 (1) -① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	施設長をはじめ管理職の話し合い、職員からの意見を集約して全体的な計画策定にあっている。特に特色ある保育、食育、地域への行事参加に園の方針が具現化されている。
A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-1 (2) -① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	園内外の安全・衛生のチェックが定期でなされており、環境の保持に取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響に関わらず、衛生への配慮がなされており、コロナ禍においてはパーティションの設置等が加えられている。
A-1-1 (2) -② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	子どもの気持ちに寄り添う、子どもが主体的に活動できることを目標とし、保育計画の策定、日々の保育の実践にあっている。主体的の本意、具体的活動への反映、保護者への寄り添いなど更に日常保育の中で推進を図っている。
A-1-1 (2) -③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	トイレトレーニング、離乳食、午睡など子どもたち一人ひとりに合わせた対応と援助に取り組んでいる。コロナ禍にあっては連絡システムを活用しながら保護者の意向を確認し、更に家庭の方針を尊重しながら進めることを約している。
A-1-1 (2) -④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	「主体的とは」との問いを職員になげかけながら保育の実践に努めている。言質だけでなく声にならない意思や意向を聞き取る「耳を育てる」ことを目標としている。また習慣や促しとのバランスを考慮・指導しながら保育を進めている。
A-1-1 (2) -⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	d	0歳児定員未設置のため「非該当」
A-1-1 (2) -⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	五領域に対して自立、他者との関わり、豊かな表現の意識がなされている。身近なものへの関心、本物の提供など子どもたちの成長に合わせた保育の計画と実施がなされている。
A-1-1 (2) -⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	昆虫を飼育するなどの体験を通して日々の生活の中で成長ができるよう環境の提供、援助にあっている。またその成長を保護者に感じてもらえるよう運動会、発表会等の行事が企画されている。
A-1-1 (2) -⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	個別計画の策定、療育施設との連携、研修による研鑽等にて取り組んでいる。個別面談の実施等意向を把握・尊重しながら進めている。
A-1-1 (2) -⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	在園時間を考慮し、おやつ提供、水分補給への配慮等がなされている。保護者への伝達は連絡アプリケーションを使用しており、コミュニケーションの向上への一助となっている。
A-1-1 (2) -⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	アプローチ・カリキュラムと題した5歳児後期の保育計画が策定されており、就学に向けた接続への取り組みに留まらず、生きる力の基礎作りを計画として定めている。コロナ禍にあつて見学等難しい中、校庭からの見学等できうる取り組みにて子どもや保護者の心配に寄り添うよう努めている。

A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	日々子どもたちの様子を観察・記録し、特に登園時には保護者からの聞き取りと視診により健康を管理している。またボードとシステムにより園内で情報を共有し、把握にあたっている。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	健康診断、歯科検診を実施し、記録と保管がなされている。また診断結果は連絡アプリケーションにより保護者に報告し、家庭との情報共有を図っている。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	入園時より面談等にて確認し、調理、食事提供に対応している。毎月のアレルギー会議実施、保護者との面談による確認、提供時の留意をもって安全な食事摂取に取り組んでいる。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	野菜の皮むき、野菜栽培など食を身近に感じられるよう工夫に努めている。また子ども一人ひとりの提供量を調節し、満足感を得る、残食を減らす等につなげている。コロナ禍においてパーティションの設置等により安全かつ楽しい食事時間となるよう努めている。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	日々の食事状況が記録され、給食会議での分析・討議により調理・提供方法の改善に取り組んでいる。食育計画を年度で立案しており、クッキングなどの狭義の食育ではなく、農業体験など更に幅広い活動にしていこう意向をもっている。またお好み焼きなど皆で楽しめる取り組みについても検討している。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a		連絡アプリケーションや送迎時のコミュニケーションを通して保護者との情報共有を図っている。各クラスによりドキュメンテーションを作成し、子どもたちの活動と成長を知らせており、その様式に各クラスの特長と職員の尽力・個性が表れている。
A-2-(2) 保護者等の支援			
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a		子育ての悩みや相談は個別面談等にて対応しており、保護者に寄り添うよう取り組んでいる。子どもの成長を見てもらう、家庭の事情・方針を考慮するよう努めている。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a		毎朝の視診により子どもたちの安全と健康を管理している。職員への指導と周知、関係機関との連携をもって早期対応と予防への準備をしている。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a		職員による自己評価、管理職の面談を通して振り返りを実施している。またクラスごと、リーダー、幹部による会議が実施されており、互いに精査しあう環境となっている。